

持っていくものの会議—  
 「たぶんこうなる」から決める

Class\_\_\_\_\_ No.\_\_\_\_\_ Name\_\_\_\_\_

🎯 今日のゴール will で「たぶんこうなる」を予想して、be going to で「だから持っていく」を決めて伝えよう。

STEP 1 お手本を読んで、声に出してまねしよう。

Winter in Hokkaido

- ① It **will** be very cold there. → I'm **going to** take a warm coat.
  - ② The road **will** be white with snow. → I'm **going to** take snow boots.
  - ③ We **will** take a lot of pictures. → I'm **going to** take my camera.
- ▼ 班の中で聞き合う
- Are you going to** take a camera? — Yes, I am. / No, I'm not.

「たぶんこうなる」＝ will、「だから持っていく」＝ be going to。どちらも後ろの動詞は原形のまま（will be / going to take）。この紙では必ず〈予想 → 持ち物〉の順で書く—先に予想を言わないと、持ち物の理由が立たない。

STEP 2 使える表現（この中から選んで使おう）

- It will be ～.
- It will rain [snow].
- There will be no ～.
- We will need ～.
- I'm going to take ～.
- I'm going to bring ～.
- Are you going to take ～?
- because ～
- Good idea!
- Me, too.

STEP 3 場面を1つえらんで○をつけ、「たぶんこうなる」を3つ予想しよう（このメモは日本語でよい）。

☐ ① ぼうさいリュック（停電・断水の夜）
 ☐ ② 冬の北海道へ2日間の旅行
 ☐ ③ 夏のキャンプ（山・川あり）
 ☐ ④ 雨の予報が出ている遠足

|   | たぶんこうなる（will で言うこと） | だから持っていく（be going to） |
|---|---------------------|-----------------------|
| ① |                     |                       |
| ② |                     |                       |
| ③ |                     |                       |

STEP 4 メモを英語にしよう。〈予想の文 → 持ち物の文〉を1組にして、3組ぶん書く。

✓ お手本と表現バンクを見ながらでOK。まちがいを恐れず、まず書いてみよう。

持っていくものの会議—  
「たぶんこうなる」から決める  
【つたえる・ふりかえる】

Class\_\_\_\_\_ No.\_\_\_\_\_ Name\_\_\_\_\_

STEP 5 班で持ち物を5つにしばって、発表しよう。

できたらチェック：

- ☐ ① 班で1人ずつ、〈予想+持ち物〉を1組だけ言う（同じ物が出たら Me, too.）
- ☐ ② 出そろったら Are you going to take ~? で確かめ合う
- ☐ ③ 班で「これは絶対」の5つを決める（理由が言える物だけ残す）
- ☐ ④ 代表が発表する（Kenta is going to take a flashlight.）

| 班で決めた5つ（英語で） | 他の班の発表から、もらった1つ |
|--------------|-----------------|
|              |                 |

自己評価 できたところに ○ をつけよう（正直に！）

| ふりかえりの観点             | ◎ よくできた | ○ できた | △ もう少し |
|----------------------|---------|-------|--------|
| ① 内容 言いたいことが相手に伝わった  |         |       |        |
| ② 正確さ 習った表現を正しく使えた   |         |       |        |
| ③ 流暢さ あまり止まらずに言えた    |         |       |        |
| ④ 態度 相手を見て、聞こえる声で言えた |         |       |        |

ふりかえり 次はどうしたい？ できるようになったこと・次の目標を1つ書こう。

☆発展チャレンジ！ 2つの文を because でつないで1文にしてみよう。I'm going to take a flashlight because there will be no electricity. —2文が1文になると、持ち物だけでなく「なぜ」まで一度に伝わる。

**先生へ（この教材のねらいと進め方）**

**ねらい：**中1の未来表現を、形の練習で終わらせない。will（予想）と be going to（決めた予定）を、〈予想 → だから決める〉という1本の線の上に置き、使い分けを説明ではなく書く順番で体験させる。導入（先生プロデュース授業案）→定着（はじめてドリル）→この1枚で、中1の未来表現が一本道になる。

**この材料を選んだ理由：**「明日の予定を書きなさい」では be going to だけで足りてしまい、will はドリルの中にしか出てこない。持ち物を決める場面だけは、先に「たぶんこうなる」を言わないと持ち物の理由が立たない—will が要る場面を作るのがこの紙の仕事。

**対応单元：**NEW CROWN I Lesson 9「Emergency Food」＝場面①／ONE WORLD I Lesson 8「Holiday in Hokkaido」＝場面②。班ごとに違う場面を引かせると、④の発表が最後まで聞ける。

**進め方・見取り：**STEP 3のメモは日本語でよい。STEP 4で英語にし、STEP 5の④で三単現（is going to）に戻す。見るのは、will・going to のあとが原形か／「予想」の欄に be going to を書いていないか／④で am → is に直しているか。評価は裏面の4観点で。

△ **使う文法の範囲：**現在形・三単現・過去形・現在進行形・can・命令文・because まで。不定詞は教科書によって初出が中1と中2に分かれるため使っていません。